

ふきふきチェック®

食品類、まな板、手指、生鮮食品等の検体を持ち運ぶことなく、現場で容易に検体採取できますので表面付着菌検査に便利です。

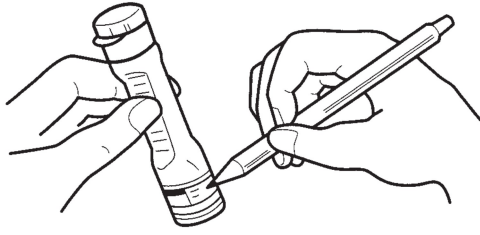


製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード	統一商品コード	規格
拭き取り検査用						
ふきふきチェック®II	10本×40箱	室温保存	1年間	PF2002	026706191	本体材質:PE、21.9φ×93.6mm キャップ材質:PP 綿棒材質:軸PP、綿球レーヨン サイズ:10φ×87mm 内容物:リン酸緩衝生理食塩水 内容量:10mL γ線照射済み 分注機能付
ふきふきチェック®II用 延長ツール	4組 (キャップ4個、 スティック4本)	室温保存	—	PF2040	026361895	全長155mm、材質:ABS
3M™ ふき取り用 ドライスポンジ	100個	2～30℃	60ヵ月間	TX1070	026713588	ふき取り検査用手袋付き
3M™ ふき取り用 中和緩衝液含浸スポンジ	100個	2～30℃	12ヵ月間	TX1071	026713595	ふき取り検査用手袋付き
3M™ ふき取り用 ドライスポンジスティック	100個	2～30℃	60ヵ月間	TX1072	026713601	ふき取り検査用柄付き
3M™ ふき取り用 中和緩衝液含浸スポンジ スティック	100個	2～30℃	12ヵ月間	TX1073	026713618	ふき取り検査用柄付き

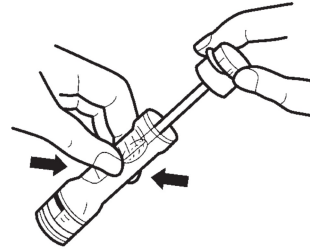
内容については、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

ふきふきチェックⅡの使用法

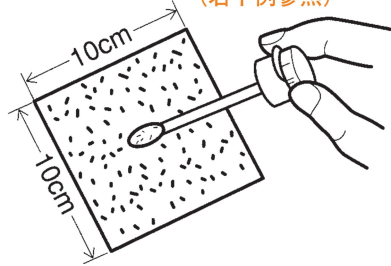
- 1** 容器のラベルに試料名などの必要事項を記入します。



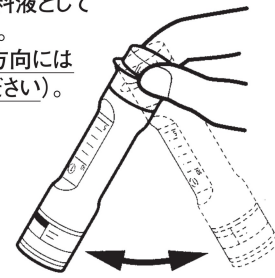
- 2** キャップをはずし、ボトルの絞り部で綿球を指で軽く圧迫し、余分な希釈液を絞り取ります。



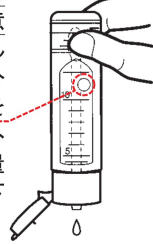
- 3** 綿球で試料表面の一定面積(通常100cm²)を拭き取ります。(右下例参照)



- 4** キャップを硬く閉めてボトルを数回振り子状に振り、均一な試料液として検査に供します。(ボトルは上下方向には振らないでください。)

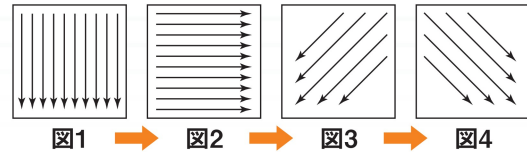


- 5** 試料を滴下する際は、予め試料を捨てるための別容器を準備し、キャップのフタを開け(キャップのフタの開栓時には、滴下ノズルに指等が触れないように留意してください)、キャップを下にしてボトルを倒立し、別容器に余分な試料液をすてて液面位置を①の目盛り線にあわせた後、ボトル絞り部を圧迫しながら必要量を培地またはシャーレなどに滴下します。



例:平状面積(10cm×10cm)の拭き取り方法

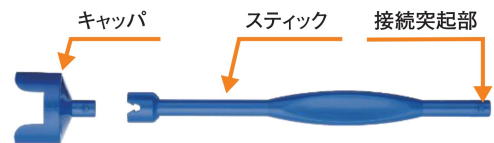
- 綿球をタテ方向に直線的に10回程度拭き取る。(図1)
- 次に、綿球をヨコ方向に直線的に10回程度拭き取る。(図2)
- 更に、左下斜め方向に直線的に5回程度拭き取る。(図3)
- 最後に、右下斜め方向に直線的に5回程度拭き取る。(図4)



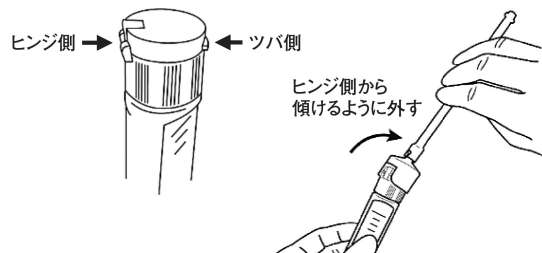
延長ツール取扱説明書

【取扱方法】

- キャップをスティックに差し込んで接続してください。
- 接続は、脱落を防止するため硬めになっています。
- キャップを机等にあてがい、カチッと入り込むまでスティックを押し込んでください。
- 使用時は、PF2002のキャップにセットしてご使用ください。
- キャップから取り外す際は、必ずキャップのヒンジ側からツバ側に傾けるように外してください。※真っ直ぐに引き抜くとキャップが開き、内容液が飛び出す可能性があります。



【延長ツールの取り外し方】



スティックは、数本接続することにより下記の様に延長できます

スティック1本時	L:155mm	
スティック2本時	L:280mm	
スティック3本時	L:405mm	

【ご使用上の注意】

- 延長ツールのスティックは、一度接続した後は、引き離さないようにしてください。引き離しを行うと接続部の劣化および割れの原因となります。
- 3本接続時は、しなるため力の掛け方にご注意ください。
- スティックには数本接続用の突起部があり、手を痛める可能性がありますので、取り扱いには十分ご注意ください。